

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム 紫竹庵

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

永木 佳代

評価完了日

平成 19 年 6 月 3 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月13日

【評価実施概要】

事業所番号	3870102914		
法人名	NPO法人グループホーム しいのみ		
事業所名	グループホーム 紫竹庵		
所在地	松山市別府町1-4-2番地 (電話) 089-953-2440		
管理者	永木 佳代		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年7月12日	評価確定日	平成19年9月13日

【情報提供票より】 (平成19年6月20日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成14年12月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	5 人	常勤	5人, 非常勤 0人, 常勤換算 5.0人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,200 円			
(3) 利用者の概要 (平成19年6月20日現在)			
利用者人数	5 名	男性 1 名	女性 4 名
要介護1	0 名	要介護2	0 名
要介護3	2 名	要介護4	2 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84 歳	最低 74 歳	最高 99 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 (あり)・なし	指定認知症対応型通所介護		
届出 (あり)・なし	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>運営者は、事業所内外の研修を職員が受講できるよう順次促しておられる。研修内容は、ミーティングで報告されており、系列事業所と合同発表会も行っておられる。以前、コーラスをされていた利用者が、他の方と一緒に歌っておられた。カラオケがお好きな方が多くおられ、お好きな時に歌が聞けるようカセットが用意されていた。裁縫をされていた方に、ボタン付けや繕いものをお願いすることもある。お正月を自宅で過ごされる方もおられる。行きつけの店に出かけられたり、健康のために、お散歩を日課とされている方もおられる。</p>

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・前回の評価結果を受けて、口腔ケアの実施や衛生具の管理等への取組みがなされていた。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・今回の自己評価は、全職員で取り組み、出された意見を採り入れながら管理者がまとめられ、「事業所の出来ている事、出来ていない事が分かった」と話されていた。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・会議時、身体拘束や高齢者虐待についての資料を配布し、出席者と意見交換が行われた。地域の方から事業所のケアの様子がよく分かったとの意見をいただいた。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・家族会では、今後の利用者がレベル低下した場合についてや、事業所の対応について意見をいただいている。ご家族と医師とが話し合うような機会を設けておられた。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・町内会に加入し、利用者とともに回覧板を回したり、地域の掃除にも参加されている。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			年に1度理念を見直し作り直している。 本年度は地域の中での暮らしということを織り込みどう支援していくか具体的に分かりやすいものにするよう心掛けている。		
			(外部評価)		
			「その人らしさを大切に」という基本理念のもと、今年、年の始めに職員全員で話し合い、理念を見直しされている。今年、地域の中での利用者の暮らしを支援するような理念を作成された。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			毎回職員全員で理念作りに取り組んでいる。 意識づけのために目につくところに掲示し、ミーティングの際も理念に添ったケアが出来ているか利用者1人1人について具体的なことを挙げ話し合うようにしている。		
			(外部評価)		
			理念を居間に掲示し、職員、利用者、ご家族等がいつでも見ることができるようになっている。職員は、理念を意識してケアに取り組んでおられ、管理者は、月1回のミーティング時に理念を実践できているかということを確認されている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族には理念を送付し、取り組み説明をしている。 家族会・推進会議の場を利用し、実際行っていることを、地域で生活することの大切さに結びつけながら伝えている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 利用者との散歩・挨拶をしている。(立ち話になることもある。) ホームへの招待も折に触れ行っている。 近隣の方に花、野菜、備品を頂く機会が多い。 回覧板を回す際は、利用者と一緒にいる。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の事情により老人会には参加できなかったが、地域の行事や活動等、近隣の方の声かけもあり、意欲的に参加している。 職員は、近くの掃除や、地域行事の準備を手伝ったりして交流の機会を大切にしている。 (外部評価) 町内会に加入し、利用者とともに回覧板を回したり、地域の掃除にも参加されている。		これまでに施設等からの敬老会の参加の事例がなく検討はして頂けたが受け入れは困難な感じである。少しずつでも理解して頂けるように参加に向けて取り組みたい。 地元の青年団の依頼により、「介護教室」を開催する予定となっていた。今後も、事業所が地元の人々と交流する機会を増やし、地域への理解や関係性をさらに深めていかれることが期待される。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 実習生の受け入れをし地域より介護等の相談があれば快く対応している。地域住民を対象にした勉強会は行っていない。		機会があれば地域の会合等で認知症ケアについての勉強会を検討していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価は全職員で行っている。外部評価の結果は全員で把握し改善計画を作成、見直すようにしている。 (外部評価) 今回の自己評価は、全職員で取り組み、出された意見を探り入れながら管理者がまとめられ、「事業所の出来ている事、出来ていない事が分かった」と話されていた。前回の評価結果を受けて、口腔ケアの実施や衛生具の管理等への取組みがなされていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			議題の内容により消防署から参加をお願いしたり、 ネットワークづくりに心掛けている。 一方的にこちらから報告するのではなく、意見を聞く 機会をつつたりしている。 外部評価の必要性を説明し、調査結果を公表し、その 後の改善・取り組みを公表している。		地域・ご家族代表の参加メンバーが同じになりがちな ので近隣の方に協力をお願いしている。
			(外部評価)		
			会議時、身体拘束や高齢者虐待についての資料を配布 し、出席者と意見交換が行われた。地域の方から事業 所のケアの様子がよく分かったとの意見をいただい た。		今後、事業所では、さらに、いろいろな方へ参加を呼 びかけ、事業所の取り組み等を知っていただきたいと 考えておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			介護更新手続き等、スタッフが市役所を訪れたり、市 の担当者が訪問してきたりすることもある。 市職員の研修を受け入れ予定している。		
			(外部評価)		
			市職員の研修を受け入れることを予定されていた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			研修の参加は、管理者・正社員クラスがほとんどであ る。推進会議の議題に揚げ、家族・スタッフ等に説明 はしているが、内容の難しさもあり、機会があるごと にこれからも説明は必要だと思う。 これまでに制度を活用したことはないが、いつでも対 応できるような体制は作っている。		全職員が理解できるように研修を受ける体制をつくっ た。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			勉強会を開き、早期発見・報告が必要であることは徹 底している。 推進会議にて「虐待」をテーマに上げたとき住民代表 からの報告により早期対応に至った。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居時に、利用者・家族を交えて十分な説明を行い、納得してもらっている。 変更があれば、随時、文書と口頭によりいつでも説明に応じるようにしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者にも運営推進会議に参加してもらい、意見をもらっている。 利用者からの不満等は、本人自身の言葉で記録日誌に残し明確にし、随時、職員間で話し合っている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 利用者の日々の様子を写真に撮り、こづかいの使いみちを明確にしたものと一緒に毎月送付している。 健康状態に変化があった場合は、家族へ連絡をし、面会時にも、再度、記録日誌を見てもらいながら報告するようにしている。		
			(外部評価) 毎月、ご家族にホーム便りや日頃の写真を送付し、日常の様子を伝えておられる。ご家族の来訪時、日誌等を用いて日頃の報告を行い、サインをいただくようになっている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族には、毎月、請求書と一緒に手紙を添えたり、面会時には、必ず、話す時間を作ったり、意見を聞く時間づくりに心掛けている。		
			(外部評価) 家族会では、今後の利用者がレベル低下した場合についてや、事業所の対応について意見をいただいている。ご家族と医師とが話し合うような機会を設けておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 定期的にミーティングを行い、意見・要望を聞いている。又、決定事項等は全員の意見を聞いたうえで決めるようにしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の状態にあわせ勤務時間（早出・遅出）を調節している。同系列のホームからいつでも職員を確保できる体制を取り、緊急時に備えている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) なるべく移動がないようにしているが、日常的に同系列ホームとは行き来しているため、移動があってもコミュニケーションをとれる状況である。 (外部評価) 開設時からおられる職員がほとんどである。系列事業所ととの交流がなされており、職員、利用者ともに行き来しておられ、いざという時には、相互で助け合っておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修の通知を提示し参加の機会をつくっている。研修報告はミーティング時に発表し共有するようにしている。 (外部評価) 運営者は、事業所内外の研修を職員が受講できるよう順次促しておられる。研修内容は、ミーティングで報告されており、系列事業所と合同発表会も行っておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			グループホーム協議会・グループワーク相互評価等にも参加しネットワーク作りに努めている。		
			(外部評価)		
		近隣のグループホームと交流する機会も多くあり、地域の他事業所との勉強会等もされている。			
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			設計構造上の環境によるストレス軽減は充分とは言えないが、随時親睦の場を作ったりクラブ活動(マラソン部)などで気分転換をしている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			運営者が出向いたり、管理者との情報提供を密にしているため状況の把握が出来ている。資格取得は積極的に支援している。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			必ず本人面談により、心身の状態・希望・困り事等の情報収集に努めている。情報は記録しスタッフ全員で把握するようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 困っていること・要望などをじっくりと聴くようにし、ホームの取組みを説明している。 面談・連絡は状況把握が出来るまで行っている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 必要に応じて、相談員、ケアマネとも連絡を取り合い、対応するようにしている。 また、家族には、希望のサービスの情報提供をするようにしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人、家族が見学をしてもらい、出来る限りスタッフが自宅に面談に行くようにしている。慣れるまではご家族に連絡をとってもらったり馴染みの方の訪問をお願いしている。 (外部評価) 調査訪問時、事業所のショートステイを利用されている方がおられ、すっかり馴染んでおられる様子がうかがえた。入居間もない利用者には、ご家族に訪問を促したり、電話をしてもらえよう働きかけておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 本人の趣味、特技、仕事に関わるようなことで、教わる機会をつくるよう心掛けている。 方言、諺、古い行事等は、特に教わることが多い。教えてもらった後は、感謝の声かけをしている。 (外部評価) 職員は、利用者に料理を教えてもらったり、浴衣のたたみ方を教えてもらうようなこともある。利用者個々の心身の変化にも気を配り、寄り添って支えておられる様子がうかがえた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会や連絡などで、暮らし振りや状態変化は、随時報告したり、本人・家族交えての話し合いの場を持つなどし、協力を得られやすい関係づくりに心掛けている。 不穏が強く出ている利用者の場合は、面会の回数を増やしてもらったり、日中ドライブなどで、家族と過ごす時間を使ってもらったようにした。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族に対して拒絶が強い場合とか、入居以前より家族の協力を全く得られない場合などは、修復に向けての対応はやりづらいところがある。なるべく誕生会にはご家族を誘って一緒にお祝い出来るよう支援している。		長年疎遠になっているご家族との関係修復は困難だが徐々に対応していきたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 家族と疎遠になっている利用者は、特に、知人との交流が持てるように、電話のやり取りや、訪問の支援をしている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係性は常に職員は把握し状態に応じて見守りしたり孤立しそうな時は職員が傍でさりげなくかわり利用者同士の関係づくりに充分配慮している。		個性をいかした関係づくりにこれからも取り組んでいきたい。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院中、他施設に移った利用者にも、不定期ではあるが、面会に行ったり、連絡をとったりしている。 以前利用者が住まれていたアパートに職員が出向き、家族と一緒に片付けをしたこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者本人にさり気なく質問してみたり、日常生活の中で出てくる本人の希望をスタッフ間で話し合い対応している。要望によっては、対応できない場合もあるので、なるべくそれに近い状態で検討するようにしている。意思の疎通が困難な方は、ご家族より話を伺うようにしている。		
			(外部評価) 利用者の希望で居酒屋に行かれることもある。今までご本人が、あまり行わなかったことについても、利用者の意向を聞きながら支援されている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) これまでの暮らし方を、本人・家族から教えてもらい、プロフィールを作成し、スタッフ全員が把握できるようにしている。		
			(外部評価)		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) なるべく細かく日誌に記録し、変化があったり、本人の性格が分かるような行動・言動があれば、分かりやすく目印をして、スタッフ全員が分かるように話し合ったりしている。申し送り時に口頭でも説明している。		
			(外部評価)		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 利用者本人と相談しながら介護計画を作成し、スタッフ全員が把握できるようミーティングも開いている。家族来訪時にも家族会を開き、意見を求めそれを取り入れたりしている。計画を立てるだけでなく、モニタリングもし、その後のケアに活かしている。		
			(外部評価) 職員は、利用者の日々の様子から意見を出し合い、ご本人やご家族の意見を採り入れ、介護計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 状態変化のあるときはご家族に随時説明し、ケアプランに取り上げるようにしている。 利用者の状態によって、介護計画の見直しは、柔軟に行い、モニタリングと共に職員全員で取り組んでいる。		
			(外部評価) 利用者個々の状態に合わせて期間を決めて、見直しをされている。状態変化時には、ご家族と相談しながら随時見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別に記録し、暮らしが分かりやすいように、本人の言葉を織り交ぜながら記入するようにしている。 1日のうちの感情変化とか、気になる行動・言動には、他の職員の分かりやすいように印等を入れ、申し送り時には、口頭でも説明するようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) デイサービス（現在休止中。近々再開の見込み。） ショートステイ対応ができ状況に応じ利用頂いている。 通院・送迎等、必要に応じ支援するようにしている。		ショートステイ・デイサービスの利用に向けて情報提供に取り組んでいる。
			(外部評価) ご家族の来訪時の送迎やご家族同伴のドライブは、希望に応じて対応されている。今後、ショートステイやデイサービスを利用していただけるよう、理解を広げていかれようとしていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進委員会を通じて交流をはかり、ボランティアや顔なじみの近隣の方による支援もお願いしている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 包括センターにより案内してもらい、体操教室に参加したり、口腔センター受診、また、利用者の希望・状況により、ボランティアの協力を得られる体制を取っている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 推進会議の毎回の参加によりホーム内の取り組みを徐々に理解してもらっている。情報交換できるように、随時訪問するようにしている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 契約時に、主治医の希望などを伺うようにし、希望に添うようにしている。協力医以外の受診時には、職員が付き添えることの説明をし、その都度家族同伴かどうかの説明をしてもらっている。協力医はほとんど毎日往診にきてもらえるので、いつでも相談し合える関係にある。ご家族と主治医との話し合える機会作りにも心掛けている。 (外部評価) 協力医療機関が毎日往診に来てくれるようになってきている。休日、夜間等、24時間体制で医療が受けられるような体制が作られている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 利用者によっては、専門医の受診をし、指示をもらっている。		最近近隣に専門病院が開院したので機会があれば受診を考えている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 24時間協力体制の確保をしている。 ほとんど毎日往診をしてもらっているため、気軽に相談できる関係にある。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には職員も同行し、本人の状況説明をしている。 医師と退院に向けての話し合いの機会を持ち、家族とも連携をとっている。入退院時には協力医もかわり早期退院にむけての助言も、もらうこともある。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人・家族・主治医の話し合える機会を設けたりしている。本人・家族の意向を大切に、それにあった対応を、医療機関と連携をとったり、スタッフ間で話し合い、方針を共有している。緊急時の対応方法等家族の意向は文書で保存している。 (外部評価) 終末の対応についての事業所指針があり、全家族に対して医師を交えて説明が行われている。ご本人、ご家族の状況変化があれば、その都度、話し合いをされている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 実際ターミナルに関わった利用者の方の場合、何度も、ご家族・協力医と話し合い、「出来ること・出来ないこと」を明確にした上で、意向に添えるよう支援した。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 事前に面談に来てもらい、情報提供をするようにしている。 また、移られた先に、職員が面会に行くこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価) 利用者1人1人、心身状態や、性格に合わせた声掛けをしている。 記録等は、名前でなく、イニシャルを使い記入している。 個人情報のマニュアルを作り、職員間で徹底している。</p> <p>(外部評価)</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価) 本人のわかる言葉で説明し、納得した上で決定が出来る。(外出時の洋服等) 多数の中から選ぶのは困難なことが多いので、小数の中から選択してもらうようにしている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価) 利用者のペースに合わせ、個別対応している。 特に決め事は作らず、利用者同士の話し合いで何をするか決めることもある。</p> <p>(外部評価) 食後に散歩に出かける方や居間でおしゃべりをしてる方等、それぞれに過ごしておられた。又、状態によっては居室でお食事をされている方もおられた。トイレに頻繁に行かれる方に、職員がさりげなく付き添っておられた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 服装は利用者に選んでもらっている。 状況に応じてスタッフが声かけしたり、アドバイスをするようにしている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 料理の下ごしらえ・配膳など、常に利用者と一緒にしている。 調理法など聞いたり、片付けを任せたり、利用者の力が発揮できる場面作りに配慮している。		
			(外部評価) 調査訪問時、配膳やお茶の用意、食器洗い等、利用者が自主的に食事作り一連の流れにかかるような場面作りをされていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の好きなもの・嫌いなものを把握し、楽しめるようにしている。 糖尿病の方にはカロリーのことを十分に配慮し支援している。 日常にお酒を飲まれる方はいないが、たまに居酒屋へ行き飲まれることもある。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 失敗した場合、他利用者に悟られないように声かけしながら対応している。 オムツをしている利用者は、時間ごとに確認するようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 本人の希望を聞き、それに合わせていつでも入浴できるようにしている。 拒否の強い利用者にも、無理強いをせずに声かけによる工夫で入浴を勧めるようにしている。		
			(外部評価) 利用者の希望する日や時間帯に入浴できるよう支援されている。入浴を嫌がられる場合には、外出後や汗をかいた後等、タイミングを見ながら声かけを行い、入浴をすすめておられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 運動、散歩などを楽しんでもらい、安眠が出来るようにしている。 好きな飲み物、食べ物など取れるようにして、くつろいでもらっている。 気持ちが落ち着いた状態で就寝できるように心かけている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 特技、仕事などを考慮し、感謝の言葉掛けをしながら、負担なく出来るよう支援している。 外出などは、利用者と相談しながら決めるようにしている。 趣味等、職員で把握し特に職員と一緒に唄う機会は多い。		
			(外部評価) 以前、コーラスをされていた利用者が、他の方と一緒に歌っておられた。カラオケがお好きな方が多くおられ、お好きな時に歌が聞けるようカセットが用意されていた。裁縫をされていた方に、ボタン付けや繕いものをお願いすることもある。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 以前は少額を手元に持ち、支払いが出来るように支援していた利用者がいたが、今は金銭管理が出来る利用者がないのでスタッフが管理している。買い物の際は支払いのときにお金を手渡すとか、おつりをもらうなど少しでも関わられるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			散歩・ドライブ・買い物等、利用者の希望を聞くようにしてから出掛けるようにしている。 外出拒否の強い方は声かけによる工夫で外出を楽しむようケアプランにも挙げ、職員全員で関わるようにもしている。利用者の生活されていた場所への外出は喜んで頂きとてもよい刺激なので、これからも続けて支援していきたいと思っている。		
			(外部評価)		
			お正月を自宅で過ごされる方もおられる。行きつけの店に出かけられたり、健康のために、お散歩を日課とされている方もおられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			以前生活されていた場所とか趣味のカラオケ等利用者の話しなどから行きたいという思いを感じられた時は検討し、できる限り実現に向けて支援している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者の希望に応じて、電話を掛けれるように、また、誕生日や母の日にプレゼントをもらったときなど、お礼の手紙を書くように支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			面会時間など決めず、いつでも尋ねていただけるよう配慮し、希望があれば宿泊も出来るようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 全職員が拘束行為を把握しており、車椅子テーブルの使用をやめるよう取り組みができ、現在は、他利用者と同じテーブルで過ごしてもらっている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中鍵をかけることはしない。利用者の状態を把握し、外に出ようとするときは無理に引き止めることはせず声かけや、一緒について行ったりして落ち着くまで対応している。 (外部評価) 日中、玄関に鍵をかけず職員が見守り支援されている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者が少数であり、構造上、家と変わらないつくりなので、見守りがしやすい状況にある。夜勤帯は時間ごとに様子を確認し何かあればすぐに対応できるようにしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 自分で出来る利用者には、相談・支援しながら本人が行っている。 出来ない利用者には、訴えがあればその都度、管理者に相談して支援している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 個々の状態に応じ、事故を防ぐための工夫をし、事故が起こってしまった場合、ヒヤリハット・事故報告書を作成し、その人だけの問題にするのではなく、スタッフ間で防止対策を話し合うようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 消防署の救命講習を全職員受講したり、緊急マニュアルを作成して対応できるようにしている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 災害マニュアルを作成。 年2回消防署の協力を得て、避難・通報訓練を行っている。 推進会議にて、近隣の方に協力をお願いしている。 (外部評価) 利用者も参加し、避難訓練を行っておられる。緊急時には、近所に住まわれている民生委員の方の協力が得られるようになっている。		さらに、今後、地域の方達と相互に協力し合えるような体制を作っていかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 緊急な場合は電話対応し、他は随時家族会で、身体レベル・精神状態などから起こり得るリスクに対しての対応策を具体的に説明し理解をしてもらっている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 個別に持病を把握し、変化や気づいたことがあれば速やかに報告し合い、日頃のバイタルチェックや変化時の記録をつけ対応できるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬剤表にて一人一人の薬の再確認をしている。変化があれば記録・主治医に報告し指示を仰いでいる。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 身体を動かす事、水分補給、また、食材など配慮している。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後に、歯磨き・義歯洗浄の声掛けをし、出来ないところはスタッフが行うことにより清潔を保持している。 誤嚥性肺炎につなげないように、定期的に歯科医師の口腔ケア指導をお願いしている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取量を記録し、職員が把握している。カロリー制限・とろみ・味付けなど個別に食事に工夫し、定期的にボランティアで栄養士に相談にのってもらっている。 (外部評価) 職員は、利用者個々の食事摂取状況や体重、排便の状態について記録し、把握されている。テーブルの上にやかんが置かれてあり、いつでもお茶を飲めるようになっている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) インフルエンザは、利用者・スタッフを含め、全員予防接種を受けている。 感染症はマニュアルを作成し、マニュアルに沿って実行している。 ノロウイルス対策として研修を受け、手洗い・消毒の徹底等で予防に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板・ふきんは毎日、食器類・冷蔵庫など週に1回消毒をしている。 買物はほぼ毎日行くようにし野菜は近隣の方が作った物を頂く事もある。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関周りが狭く殺風景になりがちなので片付けたり花を植えるなどして工夫はしている。		入口の狭さは対応できないところがあるが入口をわかりやすくする工夫に心がけていきたい。
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 散歩帰りに摘んできた花を生けたり談話室の飾りつけを利用者と一緒をしたり、好みの音楽をかけ口ずさんだり、和んでもらえるよう配慮している。 民家改修型という家に近い構造で広すぎない空間を活かすようにしている。 (外部評価) 居間にはショートステイの利用者を歓迎する飾りが付けられていた。廊下には、地域の方手作りのちぎり絵の色紙が飾られていた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 構造上狭い談話室ではあるが、皆で過ごすテーブル以外に椅子を出来るだけ置くようにし個々に過ごせるスペースをつくるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居時に、愛着のある物などを持ち込んでもらうようにしている。生活していく中でその人らしく過ごすことにつながる物があれば、ご家族の協力をあおぐこともある。家族の協力を得られない場合でも、本人の希望を聞きながら、居心地よく過ごせるように支援している。		
			(外部評価) ご本人の使い慣れたタンスやご家族の写真が持ち込まれている。できるだけ居室を広く使えるよう工夫されている。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 空気の入替はこまめにするように心がけている。温度計をチェックし、利用者の体調・好みなど個別に考慮し、温度調節をするようにしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 利用者の「できること」を支援しつつ、安全に過ごせるように日頃から状態をチェックしすばやい対応を心がけている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 失敗があった場合は全職員で把握し「何をどうすればできるかに少しでもつながるか」を検討するようにしている。本人が行う前に、前もって声掛けをして失敗を少なくする。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 構造上、外回りを有利用利用できるスペースはないが、できる範囲で花を植え水やりなどしている。又、近隣の方の畑と一緒に収穫などを楽しんでいる。		駐車場スペースを利用して、洗濯物干しや日光浴など活動できることにつなげていきたい。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんど掴んでいない	ご家族からの情報を得たり本人と向き合って重い、願いを聞くようにしている。意思疎通の困難な場合は主に家族の情報から思いをくみ取り、ご家族と相談の上、支援するようにしている。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	テーブルと一緒に囲み、会話・お茶・音楽鑑賞などでくつろぐ時間をつくっている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	無理強いせず心身の状態をみながら個々のペースにあわせるようにしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	意欲が出るような声かけの工夫をし、楽しみながら出来ることへの支援につなげている。笑顔が見られる場面が多い。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ほぼ毎日でかける機械をつくっている。長時間の外出の無理な方は近隣の散歩をすることでホーム内だけで過ごすことのないようにしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	協力医が往診に来ている。体調変化があれば24時間対応できるような体制をとっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	要望があったときは、本人が納得・安心するまで支援している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時には職員と話す機会を必ずつくるようにし日頃の暮らしぶりを伝えながら話しやすい雰囲気をもっていき要望等を伺っている。利用者と長年疎遠のご家族とは拒否がある為連絡しづらいところがある。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	同系列のホームや近隣の方の来訪がある。野菜や備品等を頂いたり関わりをもっている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ①大いに増えている ② 少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	2ヶ月に1回推進会議をすることによって、少しずつ理解してもらっている。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ①ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	職場以外でも職員同士で食事会をしたり、地域のスポーツ大会に参加し、職員間のコミュニケーションを図っており、仕事に活力が湧くような機会をつくったりしている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	一部の利用者から構造上の不満は多少ある。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ①ほぼ全ての家族等が ② 家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない	家族会により要望等を聴きながら対応しているが疎遠になっているご家族の意見が伺えない。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・利用者の行ってみたいところ、してみたい事等、色々話を聞き、出来る限り希望に添えるように取り組んでいます。 ・高齢者になじみやすい昔ながらの民家改修型。新しい入居者の方も早く慣れてもらっています。 ・「その人らしさを大切に」を理念にあげ本人の思いを第一に支援しています。
 ・近隣の方とのコミュニケーションをはかり利用者のより良い生活につなげるようにしています。 ・入居定員6名の小さなホーム！家庭的です。手厚いケアでしっかり対応させていただきます。